

大田区立熊谷恒子記念館

熊谷恒子没後四十年企画展関連トークセッション

「京都が育んだ書家・熊谷恒子の魅力～生家・京都江馬家との関わり」



京都江馬家（写真中央は恒子、左より母・信子、父・章太郎、兄・務、姉・貞）1898年頃
大田区立熊谷恒子記念館所蔵

昭和時代のかな書の第一人者、熊谷恒子の出身である京都江馬家の資料や祖父・天江が表した掛け軸、兄・務の日記などをとおして、恒子のルーツに迫る貴重なトークセッションを開催します。

登壇：青江 智洋氏

（京都府教育庁指導部文化財保護課副主査）

京都江馬家に伝わる資料の整理を通じて、熊谷恒子の兄であり風俗史研究の草分け的存在と評される江馬務（1884-1979）の社会的活動や人

的ネットワークを中心に、江馬家の調査・研究に取り組んでいる。2012年に花園大学歴史博物館の企画展「風俗史家 江馬務の見た明治・大正・昭和」に携わり、その成果を『復刻 歴世風俗印画集—写真でみる装いの文化史』（日外アソシエーツ、2024年）等として刊行。

企画展内容

熊谷恒子記念館では、2026年10月17日（土）～11月29日（日）に熊谷恒子没後四十年企画展「熊谷恒子と京都江馬家」を開催します。恒子の出身である京都の名門・江馬家の関連資料を公開し、恒子の生い立ちを振り返ります。

主催：公益財団法人大田区文化振興協会
大田区立熊谷恒子記念館



開催日時

参加費無料・事前申込制

2026年10月24日（土）
午後1時30分～3時

（受付は午後1時から）

定員：80名 ※定員を超えた場合は、抽選

会場：ライフコミュニティ西馬込 特別研修室

申込方法：協会HP内の「募集情報」から申し込み

申込締切：10月16日（金）必着

問合先：馬込アートギャラリー内

「熊谷恒子記念館熊谷恒子没後40年

企画展関連トークセッション」係

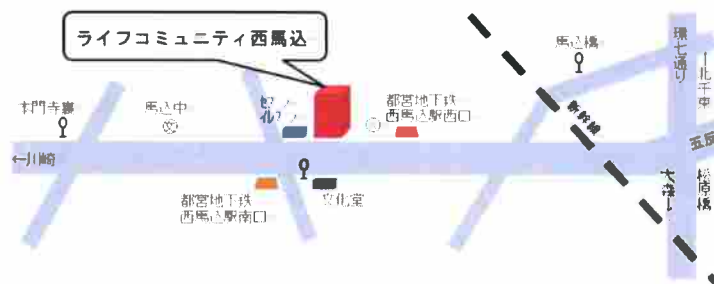
TEL:03-6410-7960



この二次元コードからお申し込みいただけます



江馬務『世三年度江馬年中日記第一号』、1900年、花園大学歴史博物館所蔵



会場：ライフコミュニティ西馬込

〒143-0025

東京都大田区西馬込2-20-1

【交通のご案内】

・都営地下鉄浅草線「西馬込駅」下車（南口出口）
徒歩約1分

